

令和5年度 自己評価・学校関係者評価委員会

2024. 2. 20

本園の教育目標

1. 元気でがまんの出来る子
2. お友達と仲良く遊べる子
3. きまりを守れる子

学校法人山崎学園
みなみ幼稚園
園長 山崎 弘樹

評価基準(点数表示)

A. 充実してる B. 大体充実している C. あまり充実していない D. 全く充実していない

	評価内容	自己評価(教師)	自己評価点	評価	学校関係者評価委員会
					意見
1	保育の計画性	<ul style="list-style-type: none">・それぞれクラスのテーマを掲げて計画を立てることが定着し、毎日の保育に活かされている事が自己評価の向上につながっているのではないかと。・週案は互いに見せ合える状態になっており、教員同士で共有できるが、活用の仕方は改善の余地がある。・教育理念、教育課程は園内研修を通し理解が深まったものの、教育要領については深く触れる機会が少ないため、今後の取り入れ方を考えていきたい。	A	A	<ul style="list-style-type: none">・教育課程の定期的な見直しは、保育の共通理解もでき、時代の背景に合わせるという観点でも良いと思う。・クラスごとのテーマを通して1年間過ごすことで、よりクラスらしさが現れた。生活発表会にも繋がられている。
2	保育の在り方 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none">・全園児を全教員でという意識を持って向き合うように意識統一の声掛けが行われており、朝礼では個別対応についても話が上がり、そこに参加できない教員へもホワイトボードを使って情報共有している。・不適切保育について全国的に問題視され、日々の保育でも迷う場面が増えたことは事実である。行事やトラブル時で学ぶもの、意図についてより深く考えるようになっている。・異年齢での関わりが少なく感じられるが、自由遊びやおはようの会等で交流機会を作っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none">・不適切保育について、委員の保育士より、言葉がげや関わり方はより気を遣うが危険な場面や子供の安全を守るためには、とっさに大きな声を出してしまうことは仕方ない。研修等で、保育観を磨いていく必要性は常にある。・子供に感情や思いを伝えるようにしている。・保護者に1日先生体験をしてもらうのも良いと思う。
3	保育者としての 能力や良識・適正	<ul style="list-style-type: none">・まわりを感じ取れる感性・アンテナの部分では低めの評価も見られる。地域の関心についてはコロナ以降集まる機会も減っているので、園全体として興味関心をより持っていくようにする。・在庫管理、教具の点検などは意識していきたい。	A	A	<ul style="list-style-type: none">・ノーメディアデーについてYouTubeやゲームをなぜやってはいけないのかの説明に悩んでいる。メディアが悪いという答えを見つけるのではなく、絵本やかかるた遊び、廃材遊びや親子の触れ合いの楽しさや時間を大切にする方向へ目を向けると良いのではという意見があった。・絵本の良さや感情のやり取り、想像する楽しさにも繋がるので、きっかけにしていきたい。

4	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価は高め。登園時、または降園時に直接保護者と話をしたり、場合によっては保育後改めて場を設け、その子の成長について話をするようにしている。 ・要望、意見に対しては理事長、園長が対応し、時間を掛けずに対策や改善を行うようにしている。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から、毎日直接担任とコミュニケーションが取れることはありがたい。 ・子供の援助に関して、教師同士が繋がっているのが伝わる。園全体で1人ひとりを見てくれているので安心して預けられている。
5	地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価は低めになっている。毎年この項目は課題が多く感じられる。 ・小学校との連携はなかなか情報交換の機会が持てないが、引き継ぎの際には卒園児の様子も含め、話し合いができています。 ・今年からみなみパークの回数を増やし、未就園児とその保護者の出会いの場ができた。最初は兄弟参加が多かったが、少しずつ新規の親子の参加も増えてきている。引き続き子育て支援にも力を入れていく。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との関わりはコロナ禍で少なくなってしまった。授業参観などは積極的に来てもらっても良い。交流を増やすことで、小学校生活がスムーズにスタートするとより良い。小学校は学年で地域への関りが決まっている。参考までに。 ・お泊り保育などで近隣のお店などに触れることも再開して良いと思う。 ・消防署の見学なども自由にできると思う。周りに目を向けるのも良いと思う。
6	研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の研修とは別に園内独自の研修を年に10回行っている。園長、研修委員を中心に計画を立て、内容も様々な分野をバランスよく考えているものの、教員の自覚としては低い評価となっている。活発な意見交換や、積極的な参加の姿勢については考えていく必要がある。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の中で、園全体で園児を見るのが生かされていることを感じている。 ・教育課程の見直しを行っていることやさまざまなことで共通理解をしていることなど、研修の内容も含めて小学校でも参考にしていきたい。